

事業所名

放課後等デイサービス ヒラメキ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

12月

31日

法人（事業所）理念	一緒に考え、支える 共に悩み、寄り添いながら、自分らしい生活を創る		
支援方針	一人ひとりへのペースに寄り添いながら、無限の可能性を広げるお手伝いをします。		
営業時間	学校 休業日	13時 9時	17時30分まで 17時
	送迎実施の有無	あり	なし
			学校までの送迎あり。 令和7年4月～自宅送迎可能（送迎区域要相談）
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	食事や排泄、運動を通して健康状態の維持や改善、生活リズムの安定が図れるよう支援します。 また着替えや排泄動作など基本的な生活スキルが獲得でき、自立動作の幅が広がるよう支援します。 具体例：日常生活動作に関わる支援（手洗い・排泄・着替え・片付け、持ち物の管理）、TEACCHプログラムを参考にし、障害特性に応じた環境設定	
	運動・感覚	体幹強化、姿勢保持、体の使い方、力の強弱など個々の状態に合わせて遊びや自立課題、運動のを通して感覚や運動機能の発達を促していきます。 具体例：感覚統合を用いた遊びや自立課題、サーキット、課外活動で散歩や遊具を使った遊び	
	認知・行動	活動の流れが理解しやすいような仕組みを構築し子ども達が見通しを持って活動が行えるよう環境を整えます。 視覚、触覚、聴覚等、感覚を使った自立課題、創作活動を通して物の使い方や空間の理解の発達を促します。また季節ごとの創作や装飾を行い、季節を感じることや子ども達が楽しく、リラックスできるような空間を作ります。 具体例：絵カード、写真、創作活動（工作、粘土、スライム作り）、学習（宿題）支援	
	言語 コミュニケーション	言葉や絵カード、写真、ジェスチャーなど1人ひとりに合わせたコミュニケーションツールを提供し自己表現や自己選択ができるよう支援します。 具体例：応用行動分析（ABA）を参考にした言語習得の支援、SST、感情表現カード	
	人間関係 社会性	個々の好きなこと、得意なこと、興味があるものを一緒に見つけ集団の中でのルールや順番、役割を通して社会的スキルが獲得できるよう支援します。 具体例：レクリエーション・ごっこ遊び、SST	
家族支援	・生活における困りごとや進路等、家族からの相談に応じサポート体制を構築します。 ・自宅での様子を家族と情報共有し、面談や支援場面の観察を通し相談援助や助言を行います。	移行支援	・学校などへの情報共有や提供を行います。 ・移行支援会議、カンファレンスへ参加しライフステージに応じたサポートします。
地域支援・地域連携	・関係する他事業所や学校等と情報共有を図り日頃の状況の把握に努め、連携を通じて日々の支援に繋げていきます。 ・放課後等デイサービス事業所連絡会への参加	職員の質の向上	・法定研修（個別支援と計画の作成、虐待防止と身体拘束の適正化、感染症対策等） ・支援の質の向上させるため職員に対し自閉症支援や応用行動分析（ABA）の研修を実施 ・ケース検討会
主な行事等	季節ごとに合わせたドライブや外出、こどもの日、夏祭り、ハロウィン、クリスマス・節分・調理レクリエーション		